

【アゼルバイジャン経済トピック 106 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年9月23日

南北国際輸送回廊開発に向けた最近の動き

2021 年 7 月 11 日付経済トピックでも紹介した南北国際輸送回廊について、9 月9日、ムスタファエフ副首相は、ノバク露副首相、ガーセミ・イラン運輸・住宅都市建設大臣と共に、同回廊の開発に関する宣言に署名を行いました。

三者会合では、交通、輸送等に関するワーキンググループの設置、同宣言の署名から1か月以内に三者会合を改めて開催旨合意されました。加えて、Rasht・Astara 間(アゼルバイジャン国境付近イラン国内の区間)の鉄道整備計画及びイラン南部のチャーバハル港と南北国際輸送回廊の統合に関する合意文書の草案作成も1か月以内に開始される予定です。

また、当地報道によれば、ロシアは 2030 年までに上記区間の鉄道建設及び同回廊一部区間(495km)の電化を含む整備に対して、15 億米ドルの借款を供与予定です。

(以上)